

ち り ゆ き え 知里幸恵の魅力に迫った3日間

～ 知里幸恵生誕100年記念フォーラム ～

9月13日(土)から15日(月)まで、市民会館などを会場に『知里幸恵生誕100年記念フォーラム～知里幸恵の100年 銀の滴ふる里へ～』が開催されました。

このフォーラムは、今年が『アイヌ神謡集』を残した知里幸恵の生誕100年に当たることを記念し、幸恵の姪・横山むつみさんが代表を務める『知里森吉』の主催で開かれたものです。

13日・14日の2日間行われたパネルディスカッションでは、小野有五教授(北海道大学)が司会を務め、国内外から参加した有識者により、幸恵がアイヌ神謡集を通じてアイヌ文化の伝承に果たした意義やアイヌ語を次の世代に伝えていく方法などについて活発な議論が行われ、来場者は熱心に耳を傾けていました。

また、青葉小学校と室蘭市立白鳥台小学校の児童が『銀のしずく、金のしずく』と『ピリカピリカ』の2曲を合唱で発表し、その美しい歌声に会場から大きな拍手が送られていました。

このほか、講師に作家の津島佑子さんと加藤幸子さんを招いた講演や幸恵の遺品の展示が行われ、最終日の幸恵ゆかりの場所を訪ねるフィールドワークでフォーラムを締めくくりました。



活発な議論が行われたパネルディスカッション



『ピリカピリカ』を歌う青葉小学校と室蘭市白鳥台小学校の児童

友好のきずなを いつまでも

～ 登別・白石姉妹都市提携20周年記念事業 ～



片倉重信さんの講演
川井白石市長(左)と
上野市長



9月5日(金)、市民会館などで『登別・白石姉妹都市提携20周年記念事業』が開かれました。

この記念事業は、登別市と姉妹都市・宮城県白石市との姉妹都市提携20周年を記念して開催されたもので、白石市からの市民訪問団を迎え、両市の市民が未永い交流を誓い合いました。

会場では、片倉家の江戸時代の料理を再現した『片倉家御膳』の披露会や片倉家16代当主・片倉重信の(仙台市)による『縁の不思議』と題した講演会が行われ、参加者は登別開拓の祖・片倉家の歴史と姉妹都市の『縁』を改めて感じ取っていました。

このほか、記念祝賀会では、登別市・白石市とゆかりのある札幌市白石区も加わり、3市区の友好交流が誓われ、参加者は盛大な拍手で新たな友好のはじまりをお祝いしていました。

まちづくりについて 市長と話し合いました

～ 市長室フリータイム ～

8月18日(月)、市役所で『市長室フリータイム』が行われ、事前に申し込みをした市民と市長がまちづくりについて意見を交換しました。

この『市長室フリータイム』は、まちづくりなどについて市民が市長と直接、自由に意見を交換してもらおうと、平成元年から開かれているもので、これまで延べ224人の市民が市長と市の施策や事業運営など、まちづくりについて意見を交換しています。

この日参加した佐々木忠男さん(登別本町)は、暴風時に屋根・壁の飛散が心配される空き家の対策や市道の認定、排水整備の進め方などについて市長と意見を交換しました。

『市長室フリータイム』は、毎年2回、この『広報のぼりべつ』で参加者を募集して行われます。



上野市長とまちづくりについて話す佐々木さん(左)